

I 漁業経営体

3 営んだ漁業種類別経営体数（全国及び九州）

— 九州では「釣」が66%、次いで「刺網」が24%となっている —

- ◆ 営んだ漁業種類別経営体の割合は、九州では「釣」を営む経営体が66%で、全国と比較すると20ポイント高くなっている。〔図6〕
- ◆ 「まき網」を営んだ経営体は全国の41%を占め、「釣」、「はえ縄」は全国の33%を占めている。〔表2〕

図6 営んだ漁業種類別経営体割合（複数回答）
（全国及び九州）（令和5年）

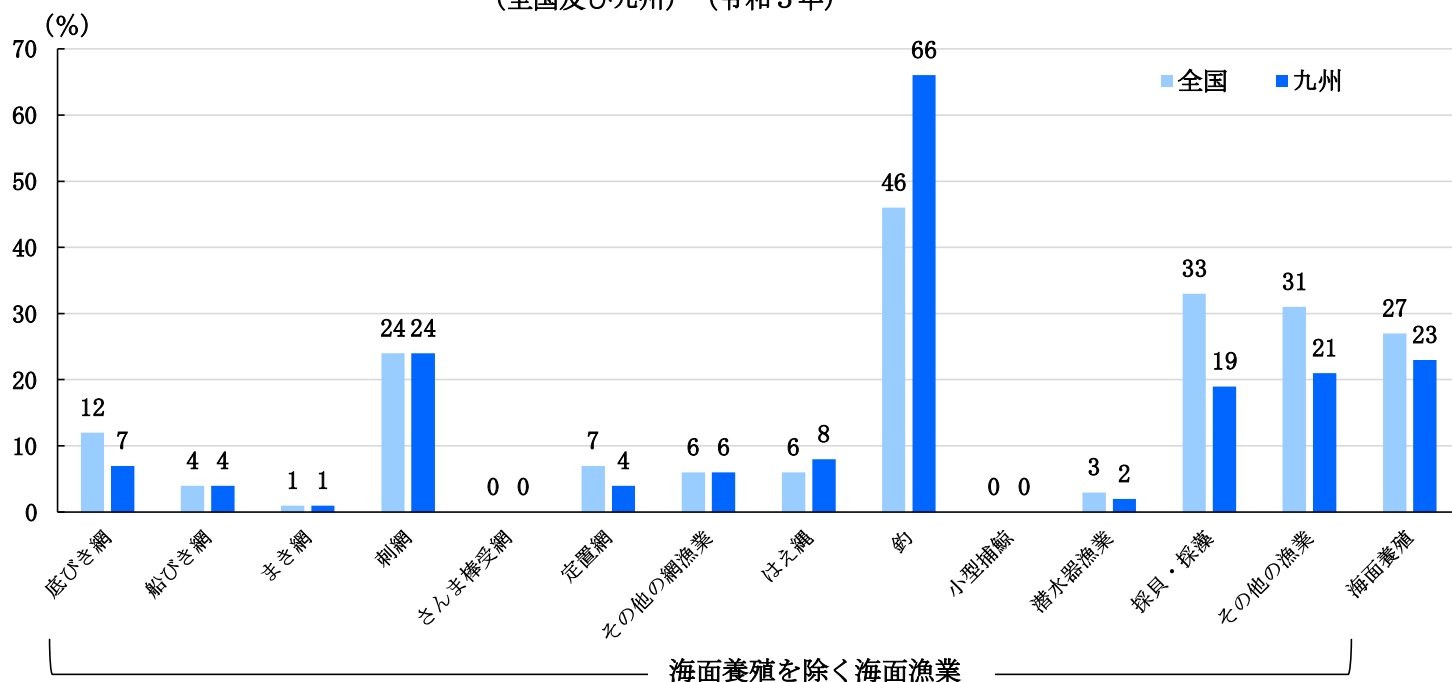


表2 営んだ漁業種類別経営体数及び割合（複数回答）
（全国及び九州）（令和5年）

区分	実経営体数	海面養殖を除く海面漁業													海面養殖
		底びき網	船びき網	まき網	刺網	さんま棒受網	定置網	その他の網漁業	はえ縄	釣	小型捕鯨	潜水器漁業	採貝・採藻	その他の漁業	
全国 (割合)	65,662	7,719 12%	2,589 4%	386 1%	15,669 24%	91 0%	4,568 7%	3,771 6%	3,815 6%	29,940 46%	3 0%	1,699 3%	21,676 33%	20,420 31%	17,901 27%
九州 (割合)	15,170	1,024 7%	660 4%	158 1%	3,568 24%	1 0%	658 4%	947 6%	1,262 8%	9,974 66%	— —	325 2%	2,927 19%	3,218 21%	3,492 23%
(九州占有率)		13%	25%	41%	23%	1%	14%	25%	33%	33%	—	19%	14%	16%	20%

注：複数回答のため、経営体数の合計は実経営体数に、また、割合の合計は100%になりません。